

施策評価管理シート

2020(令和2)年6月作成

施策体系	政策	1	支え合い 健康でいきいきと暮らせるまち		
	基本施策	2	保健・医療・福祉のネットワークづくり	担当部局(室)名	部局長名
	施策	3	地域医療	福祉子ども部	森嶋 和宏

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- 市立病院を核とする地域医療機関との機能分担と連携を強化して、安心して信頼できる地域医療体制を構築します。
- 伊賀地域における安心して安定した救急医療体制を確立するため、関係機関と連携しながら地域内の病院の機能分担と連携の強化をさらに進めます。

2. 令和元年度の取組内容及びその成果



- ・伊賀地域医療構想調整会議において、地域の実情を踏まえた病床の機能転換や急性期機能のあり方など、伊賀地域の医療体制の方向性について協議を行いました。
- ・定期的に開催される「地域医療連携推進委員会」では、名賀医師会と市立病院で地域医療の機能分担のほか、緊密な連携体制について確認し、市民が安心して信頼できる医療サービスが受けられるよう努めました。
- ・伊賀地域の救急医療を担う伊賀市立上野総合病院、岡波総合病院と市立病院で定期的に開催する「伊賀地域二次救急医療に係る意見交換会」において、地域における安心して安定した救急医療について、3病院で輪番体制を維持しながら、二次救急医療体制の継続を確認するなど、連携強化や医療体制の確保に努めました。
- ・地域の医療需要に対し、回復期病床の不足を補完するため、市立病院に41床の地域包括ケア病棟を開設する準備に取り組みました。
- ・三重大学等による寄附講座開設により、市立病院への派遣医師の確保を図りました。
- ・関西医科大学小児科学教室の協力により常勤小児科医師5名を配置し、「小児救急医療センター」による24時間365日対応の小児救急を継続しています。
- ・産婦人科開設は、まずは令和2年度に婦人科外来の診療を開始する方向性を示しました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
地域医療機関(開業医や公立病院等)での現在の医療体制に満足している市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	50.5	
	成果	48.8	53.8	53.4				100.0%
かかりつけ医を決めている人の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	85.0	
	成果	77.7	78.9	77.1				0.0%
地域医療機関等から市立病院への紹介件数(件/月)	目標	-	-	-	-	-	554	
	成果	527	491	482				0.0%
市立病院から地域医療機関等への紹介件数(件/月)	目標	-	-	-	-	-	529	
	成果	526	524	478				0.0%

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・限られた医療資源を効率的かつ効果的に機能させることが必要です。
- ・地域医療機関等から市立病院への紹介件数が減少している主な要因は、内科医師の減少にあります。(月平均内科医師数 H29:15.8人、H30:13人、R1:12.2人)
- ・市立病院への紹介件数が減少すれば地域医療機関等への紹介件数も減少します。
- ・初期研修医数が減少傾向であり、それに伴い後期研修医や後に常勤医師として市立病院で勤務する医師が減少しています。(月平均初期研修医数 H29:6.8人、H30:7人 R1:5人)
- ・かかりつけ医師、歯科医師、薬剤師を持つことにより、日頃からの健康管理や病気の予防・早期治療につながるのと同時に、かかりつけ医等が介護と医療の連携による在宅医療においても中心的な役割を果たすことを周知啓発していくことが必要です。

5. 分析結果を踏まえた施策の取組内容(令和2年度以降)



- ・関係機関と連携を図り、伊賀地域の医療体制の継続に努めます。
- ・医療体制の確保には医師確保が重要です。引き続き、三重大学等による寄附講座開設や派遣元病院との協議により、初期研修医を含む常勤医師の確保策を推進します。
- ・地域医療機関等からの市立病院への紹介件数の増加に向け、医師をはじめ、地域医療連携担当が地域開業医を訪問し、市立病院の強みである循環器カテーテルやアブレーション治療などセールスポイントの周知に努めます。
- ・市立病院に地域包括ケア病棟を開設し、急性期医療から回復期医療を経て在宅復帰に繋げるという地域包括ケアシステムの一翼を担います。
- ・産婦人科開設に向け、引き続き、大学病院等、関係機関との協議を継続します。
- ・身近なかかりつけ医師等を持つ人の増加に向け、市ホームページや庁内モニター等により周知啓発に努めます。

【参考】施策を構成する主な事務事業

※R2予算額は、R2.6月補正時の予算額

事務事業シートNO	事業名	担当室	事業費（単位：千円）			
			R1 決算見込額	うち一般財源	R2 予算額	うち一般財源
1070-1	医療体制推進費	医療福祉総務室	4,150	3,704	4,153	3,707
1070-2	病院群輪番制病院運営事業	医療福祉総務室	28,039	28,039	76,325	28,236
1070-3	医療体制推進寄附講座開設事業	医療福祉総務室	36,037	30,037	36,075	30,075
1071	看護師等修学資金貸付事業	総務企画室	8,292	8,292	9,847	9,847
1072	献血推進事業	医療福祉総務室	143	143	143	143
3038	開業医救急車受入支援補助金	医療福祉総務室	1,335	1,335	1,500	1,500
3152	骨髄移植ドナー支援事業	医療福祉総務室	0	0	210	210
6073	応急診療所費	医療福祉総務室	44,585	0	45,487	0
7013-1	市立病院（病院事業会計）	総務企画室	3,237,638	1,109,236	2,944,851	884,555
7013-2	看護専門学校（病院事業会計）	看護専門学校（教務庶務室）	86,268	57,709	97,234	71,806
7013-3	介護老人保健施設ゆりの里（病院事業会計）	ゆりの里（総務室）	112,668	30,124	108,043	13,181
合計			3,559,155	1,268,619	3,323,868	1,043,260

事務事業シート

事務事業名	医療体制推進費		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	医療福祉総務室	永岡 一郎	

(R.2)No.	1070-1	(R.1)No.	1070-1
----------	--------	----------	--------

会計区分	事業コード	250502
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 衛生費	保健衛生総務費	
項 保健衛生費	(小事業名)	
目 保健衛生総務費	医療体制推進費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1 支え合い健康でいきいきと暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	2 保健・医療・福祉のネットワークづくり	
	施策	3 地域医療	
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
夜間・休日の一次および二次救急患者の受入れ体制を確保するとともに、救急医療の適正受診を促進し、地域で安心できる医療体制の整備を図る。
事業内容
時間外の一次救急医療の確保に向け、市応急診療所への医師派遣を医師会にお願いしている。また、小児科医以外の医師が応急診療所で診療に従事するため、小児救急医療医師研修も実施。歯科の一次救急患者受入れは、歯科医師会へ年末年始の在宅歯科診療をお願いしている。また、かかりつけ医をもつことを啓発し、急病の際に適切な医療機関の受診案内を行う救急医療情報システムの活用も啓発している。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)	R.5年度(事業計画)
	主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ○大型連休在宅歯科応急診療委託 280,000円 ○年末年始在宅歯科応急診療委託 280,000円 ○一次救急医療体制事業委託 3,015,000円 ○救急医療情報システム運営事業 568,523円 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・食糧費 6,480円 	<ul style="list-style-type: none"> ○年末年始在宅歯科応急診療委託 360千円 ○一次救急医療体制事業委託 3,015千円 ○救急医療情報システム 730千円 ○食糧費 7千円 ○市民公開講座 41千円 	<ul style="list-style-type: none"> ○年末年始在宅歯科応急診療委託 360千円 ○一次救急医療体制事業委託 3,015千円 ○救急医療情報システム 730千円 ○食糧費 7千円 	<ul style="list-style-type: none"> ○年末年始在宅歯科応急診療委託 360千円 ○一次救急医療体制事業委託 3,015千円 ○救急医療情報システム 730千円 ○食糧費 7千円 	<ul style="list-style-type: none"> ○年末年始在宅歯科応急診療委託 360千円 ○一次救急医療体制事業委託 3,015千円 ○救急医療情報システム 730千円 ○食糧費 7千円 	<ul style="list-style-type: none"> ○年末年始在宅歯科応急診療委託 360千円 ○一次救急医療体制事業委託 3,015千円 ○救急医療情報システム 730千円 ○食糧費 7千円

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		4,150千円		4,153千円	4,112千円	4,153千円	4,112千円
内訳(千円)							
国・県支出金		136		136	136	136	136
地方債							
その他(分担金)		310		310	310	310	310
一般財源	0	3,704	0	3,707	3,666	3,707	3,666
人工数							
職員		0.29人		0.24人	0.24人	0.24人	0.24人
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	2,175千円	0千円	1,800千円	1,800千円	1,800千円	1,800千円
①+②総事業費	0千円	6,325千円	0千円	5,953千円	5,912千円	5,953千円	5,912千円

事務事業シート

事務事業名	病院群輪番制病院運営事業		
担当部局名	福祉子ども部	担当室名	医療福祉総務室
		室長名	永岡 一郎

(R.2)No.	1070-2	(R.1)No.	1070-2
----------	--------	----------	--------

会計区分	一般会計	事業コード	250530
		(中事業名)※予算書事業名	
款	衛生費	保健衛生総務費	
項	保健衛生費	(小事業名)	
目	保健衛生総務費	病院群輪番制病院運営事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1 支え合い健康でいきいきと暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	2 保健・医療・福祉のネットワークづくり	
	施策	3 地域医療	
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	伊賀地域内において、二次救急患者の受入れ体制を確保することにより、地域で安心できる医療体制の整備を図る。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、民間病院(岡波総合病院)への追加支援を行うことにより、伊賀地域3病院により実施している病院群輪番制二次救急医療体制を維持することができる。
事業内容	伊賀地域の二次救急医療に対応するため、名張市立病院・上野総合市民病院・岡波総合病院が救急輪番体制を整備するにあたり、必要な運営経費を負担する。加えて、岡波総合病院に対しては、民間病院救急医療体制整備にかかる運営経費を負担する。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、新たに発熱等症状のある救急患者を受け入れるための体制整備にあたり、本年度に限り、追加支援を実施する。 なお、令和2～4年度まで名張市が事務局を担当し、運営経費を人口割合に応じ、伊賀市から負担金を徴収する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)	R.2年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	総事業費 28,038,624円 ○病院群輪番制病院運営事業 14,302,751円 (@63,000円×492コマ)×(78,553人/170,235人)=14,302,751円 ○民間病院救急医療体制整備事業 13,735,873円 (内訳) (単独実施@189,000円×149コマ)×(78,553人/170,235人)=12,994,572円 (2病院実施@94,500円×17コマ)×(78,553人/170,235人)=741,301円 (平成29～令和1は伊賀市が事務局)	総事業費 76,325千円 ○病院群輪番制病院運営事業 30,681千円 @63,000円×487コマ=30,681千円(内、病院事業会計繰出金11,781千円) ○民間病院救急医療体制整備事業 45,644千円 (内訳) @189,000円×161コマ=30,429千円 @189,000円×161コマ×1/2=15,215千円 (新型コロナウイルス感染症対応追加支援) (令和2～4は名張市が事務局)



	R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)	R.5年度(事業計画)
	令和2年度と同様に実施予定 (令和2～4は名張市が事務局)	令和2年度と同様に実施予定 (令和2～4は名張市が事務局)	令和2年度と同様に実施予定 (令和5～7は伊賀市が事務局)

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		28,039千円		76,325千円	61,110千円	61,110千円	28,000千円
内訳(千円)							
国・県支出金				7,035			
地方債							
その他(分担金)				41,054	32,800	32,800	
一般財源	0	28,039	0	28,236	28,310	28,310	28,000
人工数		0.48人		0.39人	0.39人	0.39人	0.39人
職員							
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	3,600千円	0千円	2,925千円	2,925千円	2,925千円	2,925千円
①+②総事業費	0千円	31,639千円	0千円	79,250千円	64,035千円	64,035千円	30,925千円

事務事業シート

(R.2)No.	1070-3	(R.1)No.	1070-3
----------	--------	----------	--------

事務事業名	医療体制推進寄附講座開設事業		
担当部局名	福祉子ども部	担当室名	医療福祉総務室
		室長名	永岡 一郎

会計区分	一般会計	事業コード	250531
		(中事業名)※予算書事業名	
款	衛生費	保健衛生総務費	
項	保健衛生費	(小事業名)	
目	保健衛生総務費	医療体制推進寄附講座開設事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1 支え合い健康でいきいきと暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	2 保健・医療・福祉のネットワークづくり	
	施策	3 地域医療	
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	それぞれの研究を通じて質の高い医療を提供するとともに、伊賀地域における二次救急医療の確保を図る。
事業内容	関係大学に対して寄附講座を設置し、専門性の高い医療の研究を進めるとともに、名張市立病院への医師派遣等により、伊賀地域における二次救急医療の確保を図る。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		
		総事業費36,037千円 1.寄附講座設置事業:三重大学他32,000千円 2.委託事業:奈良県立医科大学 4,037千円	総事業費36,075千円 1.寄附講座設置事業:三重大学他32,000千円 2.委託事業:奈良県立医科大学 4,075千円	R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)
			総事業費36,075千円 1.寄附講座設置事業:三重大学他32,000千円 2.委託事業:奈良県立医科大学 4,075千円	総事業費36,075千円 1.寄附講座設置事業:三重大学他32,000千円 2.委託事業:奈良県立医科大学 4,075千円	総事業費36,075千円 1.寄附講座設置事業:三重大学他32,000千円 2.委託事業:奈良県立医科大学 4,075千円

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		36,037千円		36,075千円	36,075千円	36,075千円	36,075千円
内訳(千円)		6,000		6,000	6,000	6,000	6,000
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	0	30,037	0	30,075	30,075	30,075	30,075
人工数		0.22人		0.16人	0.16人	0.16人	0.16人
職員							
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	1,650千円	0千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円
①+②総事業費	0千円	37,687千円	0千円	37,275千円	37,275千円	37,275千円	37,275千円

事務事業シート

事務事業名	看護師等修学資金貸付事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
市立病院事務局	総務企画室	辻川 武志	

(R.2)No.	1071	(R.1)No.	1071
----------	------	----------	------

会計区分	事業コード	251001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 衛生費	看護師等修学資金貸付事業	
項 保健衛生費	(小事業名)	
目 保健衛生総務費		

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1 支え合い健康でいきいきと暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	2 保健・医療・福祉のネットワークづくり	
	施策	3 地域医療	
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
市内における看護師等の確保を容易にし、保健医療の充実を図ります。
事業内容
看護師及び准看護師を養成する学校又は養成所に在学し、将来保健医療に関わる事業を実施する名張市及び市内の医療機関(指定機関)に勤務しようとする意思を有する者に修学資金を貸与する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	貸与者 看護師:35名 (うち当年度新規:15件) 合計 8,292千円	貸与者 看護師及び准看護師:40名 合計 9,840千円 貸与選考委員報酬:7,000円	貸与者 看護師及び准看護師:40名 合計 9,840千円 貸与選考委員報酬:7,000円	貸与者 看護師及び准看護師:40名 合計 9,840千円 貸与選考委員報酬:7,000円

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		8,292千円		9,847千円	9,840千円	9,840千円	9,840千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他(介護報酬等)							
一般財源	0	8,292	0	9,847			
人工数							
職員		0.10人		0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	750千円	0千円	750千円	750千円	750千円	750千円
①+②総事業費	0千円	9,042千円	0千円	10,597千円	10,590千円	10,590千円	10,590千円

事務事業シート

(R.2)No.	1072	(R.1)No.	1072
----------	------	----------	------

事務事業名	献血推進事業		
担当部局名	福祉子ども部	担当室名	医療福祉総務室
		室長名	永岡 一郎

会計区分	一般会計	事業コード	250504
		(中事業名)※予算書事業名	
款	衛生費	保健衛生総務費	
項	保健衛生費	(小事業名)	
目	保健衛生総務費	献血推進事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1 支え合い健康でいきいきと暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	2 保健・医療・福祉のネットワークづくり	
	施策	3 地域医療	
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	献血に対する住民等の理解を深め、より多くの人に献血に協力していただき、血液製剤を確保する。
事業内容	安全な血液の安定した供給・確保のため、名張市献血推進協議会の協力のもと、地域住民及び市内事業所等に対し、献血への理解を深めるための普及啓発等を実施する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	R.1年度(事業量・取組実績)	R.2年度(事業量・取組計画)	R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)	R.5年度(事業計画)
		<ul style="list-style-type: none"> ○街頭献血実績 10日 ○啓発活動実績 <ul style="list-style-type: none"> ・サマー献血キャンペーン(8月) ・献血推進の日(11月) ・ウィンター献血キャンペーン(2月) ・献血者実績 371人 	<ul style="list-style-type: none"> ○街頭献血予定日数 8日 ○啓発活動予定 <ul style="list-style-type: none"> ・サマー献血キャンペーン(8月) ・ウィンター献血キャンペーン(2月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○街頭献血 ○啓発活動(献血キャンペーン) 	<ul style="list-style-type: none"> ○街頭献血 ○啓発活動(献血キャンペーン)

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		143千円		143千円	143千円	143千円	143千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	0	143	0	143	143	143	143
人工数							
職員		0.21人		0.24人	0.24人	0.24人	0.24人
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	1,575千円	0千円	1,800千円	1,800千円	1,800千円	1,800千円
①+②総事業費	0千円	1,718千円	0千円	1,943千円	1,943千円	1,943千円	1,943千円

事務事業シート

(R.2)No.	3038	(R.1)No.	3038
----------	------	----------	------

事務事業名	開業医救急車受入支援補助金		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	医療福祉総務室	永岡 一郎	

会計区分	事業コード	250506
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 衛生費	保健衛生総務費	
項 保健衛生費	(小事業名)	
目 保健衛生総務費	開業医救急車受入支援補助金	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1 支え合い健康でいきいきと暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	2 保健・医療・福祉のネットワークづくり	
	施策	3 地域医療	
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
開業医療機関における救急搬送患者の受入体制を充実させることにより、安定的な救急医療体制を確保するとともに、二次救急医療機関の負担軽減を図る。
事業内容
本市の救急医療に対応するため、名賀医師会に所属する開業医療機関に対して、名張市消防本部の救急車で搬送される患者の受入れについて協力をお願いするとともに、その受入れに対する支援を行うことにより、救急医療体制の補完および充実を図る。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		
	R.3年度(事業計画)		R.4年度(事業計画)		R.5年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	実績額 1,335,000円 【内訳】 1. 10,000円×71件=710,000円 (1)午後5時から翌日の午前8時45分まで (2)休日の午前8時45分から午後5時まで 2. 5,000円×125件=625,000円 上記(1)、(2)以外るとき	予算額 1,500千円 【内訳】 1. 10,000円×90件=900千円 (1)午後5時から翌日の午前8時45分まで (2)休日の午前8時45分から午後5時まで 2. 5,000円×120件=600,000円 上記(1)、(2)以外るとき	令和2年度と同様に実施予定	令和2年度と同様に実施予定	令和2年度と同様に実施予定

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		1,335千円		1,500千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	0	1,335	0	1,500	1,500	1,500	1,500
人工数		0.09人		0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
職員							
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	675千円	0千円	750千円	750千円	750千円	750千円
①+②総事業費	0千円	2,010千円	0千円	2,250千円	2,250千円	2,250千円	2,250千円

事務事業シート

事務事業名	骨髄移植ドナー支援事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	医療福祉総務室	永岡 一郎	

(R.2)No.	3152	(R.1)No.	3152
----------	------	----------	------

会計区分	事業コード	250520
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 衛生費	保健衛生総務費	
項 保健衛生費	(小事業名)	
目 保健衛生総務費	骨髄移植ドナー支援事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1 支え合い健康でいきいきと暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	2 保健・医療・福祉のネットワークづくり	
	施策	3 地域医療	
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
 骨髄等の移植における提供者(ドナー)の負担を軽減し、より多くの、善意による非血縁者間の移植実現とドナー登録者の増加を図る。ドナーが勤務する市内事業所への支援も行い、提供しやすい環境を整える。

事業内容

公益財団法人骨髄移植推進財団(以下「財団」という。)が実施する骨髄バンク事業(非血縁者間での移植)におけるドナーに対し、助成金を交付し支援する。
 助成対象は、①財団が実施する骨髄バンク事業において、骨髄又は末梢血幹細胞の提供を完了し、財団より証明書の交付を受けた、市内に住所を有するドナー ②そのドナーが勤務する市内事業所。令和2年度から、交付実績額の1/2が、県の助成事業の対象となる。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)	R.5年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	【助成金交付実績】 ○ドナー助成(1人) 骨髄の提供に係る通院又は入院の日数に2万円を乗じて得た額。(1回の提供につき限度額14万円) ドナー助成交付実績なし ○事業所助成(1ヶ所) ドナーが勤務している市内の事業所へはドナーが勤務を休んだ日数に1万円を乗じて得た額。(1回の提供につき限度額7万円) 事業所助成交付実績なし	【助成金交付計画】 ○ドナー助成(1人) 骨髄の提供に係る通院又は入院の日数に2万円を乗じて得た額。(1回の提供につき限度額14万円) @20,000円×7日=140,000円 ○事業所助成(1ヶ所) ドナーが勤務している市内の事業所へはドナーが勤務を休んだ日数に1万円を乗じて得た額。(1回の提供につき限度額7万円) @10,000円×7日=70,000円	○ドナー助成 (1人:140千円) ○事業所助成 (1ヶ所:70千円)	○ドナー助成 (1人:140千円) ○事業所助成 (1ヶ所:70千円)	○ドナー助成 (1人:140千円) ○事業所助成 (1ヶ所:70千円)		

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		0千円		210千円	210千円	210千円	210千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	0	0	0	210	210	210	210
人工数		0.04人		0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
職員							
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	300千円	0千円	375千円	375千円	375千円	375千円
①+②総事業費	0千円	300千円	0千円	585千円	585千円	585千円	585千円

事務事業シート

(R.2)No.	6073	(R.1)No.	6073
----------	------	----------	------

事務事業名	応急診療所費		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	医療福祉総務室	永岡 一郎	

会計区分	事業コード	255502
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 衛生費	応急診療所費	
項 保健衛生費	(小事業名)	
目 応急診療所費	応急診療所費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1 支え合い健康でいきいきと暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	2 保健・医療・福祉のネットワークづくり	
	施策	3 地域医療	
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
地域住民の休日及び夜間の一次救急医療を確保し、一次・二次の役割分担の徹底及び適正受診を促進し、地域で安心できる医療体制の整備を図る。
事業内容
名賀医師会、名賀保険薬局会の協力のもと、休日及び夜間の急病患者に対し応急的な医療を提供する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	○応急診療所の運営・維持管理 ・開所日数 366日 ・診療時間 【平日夜】 午後8～11時 【日・祝・年末年始】 午前9～12時 午後3～5時 午後8～11時 (※受付時間は、各診療時間終了時刻の30分前まで。)	○応急診療所の運営・維持管理 ・開所日数 365日 ・診療時間 【平日夜】 午後8～11時 【日・祝・年末年始】 午前9～12時 午後3～5時 午後8～11時 (※受付時間は、各診療時間終了時刻の30分前まで。)	○応急診療所の運営、維持管理 ・開所日数 365日	○応急診療所の運営、維持管理 ・開所日数 365日

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		44,585千円		45,487千円	45,487千円	45,487千円	45,487千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他(衛生雑入)		44,585		45,487	45,487	45,487	45,487
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人工数							
職員		3.46人		3.60人	3.60人	3.60人	3.60人
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	25,950千円	0千円	27,000千円	27,000千円	27,000千円	27,000千円
①+②総事業費	0千円	70,535千円	0千円	72,487千円	72,487千円	72,487千円	72,487千円

事務事業シート

(R.2)No.	7013-1	(R.1)No.	7013-1
----------	--------	----------	--------

事務事業名	市立病院(病院事業会計)		
担当部局名	担当室名	室長名	
市立病院事務局	総務企画室	辻川 武志	

会計区分	事業コード	007013
病院事業会計	(中事業名)※予算書事業名	
款		
項	(小事業名)	
目		

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1 支え合い健康でいきいきと暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	2 保健・医療・福祉のネットワークづくり	
	施策	3 地域医療	
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
基本理念である「市民のみなさまに親しまれ信頼される病院を目指します」を常に念頭に置いて市民の命と健康を守ります。
事業内容
良質で高度な二次医療の提供と救急医療に重点を置き、地域の中核病院として機能を果たすため、地域医療支援病院の承認や災害拠点病院の指定を受け、在宅医療救急システムや重症患者の在宅訪問診療、24時間365日の小児二次救急を実施しています。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		R.3年度(事業計画)			R.4年度(事業計画)			R.5年度(事業計画)		
	主な事業の実績・計画	・病床数: 一般200床 ・計画 年間延患者数: 入院56,335人 外来75,836人 一日平均患者数: 入院154人 外来316人		・病床数: 一般200床 ・計画 年間延患者数: 入院62,798人 外来85,536人 一日平均患者数: 入院172人 外来352人		・病床数: 一般200床 ・計画 年間延患者数: 入院62,798人 外来85,536人 一日平均患者数: 入院172人 外来352人			・病床数: 一般200床 ・計画 年間延患者数: 入院62,798人 外来85,536人 一日平均患者数: 入院172人 外来352人			・病床数: 一般200床 ・計画 年間延患者数: 入院62,798人 外来85,536人 一日平均患者数: 入院172人 外来352人	

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		3,237,638千円	5,351千円	2,939,500千円	3,421,195千円	3,090,986千円	3,333,408千円
内訳(千円)							
国・県支出金		9,253		10,000	10,000	10,000	10,000
地方債		525,000	5,300	140,500	568,700	68,800	257,300
その他(診療報酬等)		1,594,149		1,904,496	1,892,814	2,052,252	2,074,925
一般財源	0	1,109,236	51	884,504	949,681	959,934	991,183
人工数							
職員							
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	2,821,094千円	0千円	2,816,571千円	2,912,000千円	2,910,000千円	2,910,000千円
①+②総事業費	0千円	6,058,732千円	5,351千円	5,756,071千円	6,333,195千円	6,000,986千円	6,243,408千円

事務事業シート

(R.2)No.	7013-2	(R.1)No.	7013-2
----------	--------	----------	--------

事務事業名	看護専門学校(病院事業会計)		
担当部局名	担当室名	室長名	
市立病院事務局	看護専門学校(教務庶務室)	下永 美智子	

会計区分	事業コード	007013
病院事業会計	(中事業名)※予算書事業名	
款		
項	(小事業名)	
目		

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1 支え合い健康でいきいきと暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	2 保健・医療・福祉のネットワークづくり	
	施策	3 地域医療	
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	感性豊かな人間性と現代医療に対応できる知識・技術・態度を身につけた地域社会に貢献できる看護師の育成
事業内容	感性豊かな人間性を養い、看護対象である人間を広く理解し、健康上の問題解決に必要な看護に対する知識・技術・態度を身につけることで、保健医療の進展、変化に対応できる看護の実践者の育成をめざす。また、人々の生活基盤である地域を理解し、個人個人の生活特性を生かした看護展開ができる能力を開発するために、在宅ケアの看護技術の修得および継続看護に重点をおいた教育を実施する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)	R.2年度(事業量・取組計画)	R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)	R.5年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	令和元年度末 学生数 57名 (1年生21名、2年生18名、3年生18名) 令和元年度入学者数 22名 令和元年度卒業生数 17名 国家試験合格者数 16名 市内医療機関への就職者数 11名(うち市立病院9名)	地域医療に貢献できる優秀な入学者の確保(定員20名) 市内医療機関への就職者の増加	地域医療に貢献できる優秀な入学者の確保(定員20名) 市内医療機関への就職者の増加	地域医療に貢献できる優秀な入学者の確保(定員20名) 市内医療機関への就職者の増加	地域医療に貢献できる優秀な入学者の確保(定員20名) 市内医療機関への就職者の増加

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		86,268千円		97,234千円	97,234千円	97,234千円	97,234千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債		4,800					
その他()		23,759		25,428	25,428	25,428	25,428
一般財源	0	57,709	0	71,806	71,806	71,806	71,806
人工数							
職員							
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	77,317千円	0千円	78,390千円	78,390千円	78,390千円	78,390千円
①+②総事業費	0千円	163,585千円	0千円	175,624千円	175,624千円	175,624千円	175,624千円

事務事業シート

事務事業名	介護老人保健施設ゆりの里 (病院事業会計)		
担当部局名	担当室名	室長名	
市立病院事務局	ゆりの里(総務室)	中嶋 知子	

(R.2)No.	7013-3	(R.1)No.	7013-3
----------	--------	----------	--------

会計区分	事業コード	007013
病院事業会計	(中事業名)※予算書事業名	
款		
項	(小事業名)	
目		

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1 支え合い健康でいきいきと暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	2 保健・医療・福祉のネットワークづくり	
	施策	3 地域医療	
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
要介護状態の高齢者等が、介護・看護・リハビリ等のサービスを通じその人の有する力に応じた自立支援・家庭生活への復帰をめざし、居宅サービス事業者と連携しながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることを支える事を目的としています。
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> 施設サービス: 介護を必要とする高齢者等の自立を支援し、家庭復帰をするため、医師による医学的管理の下、専門職による看護・介護・リハビリテーション、また、栄養管理・食事・入浴等の日常生活上のケアサービスを提供します。 在宅サービス(通所リハビリテーション・短期入所療養介護): 居宅介護サービス計画に基づき通所・短期宿泊の方法で医師による医学的管理の下、必要なリハビリテーション・介護・入浴・食事等のサービスを提供します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)	R.2年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 入所者数 (年間利用者延べ人数) 14,978人 うち短期入所者数 243人 通所者数 (年間通所者延べ人数) 1,490人 	<ul style="list-style-type: none"> 入所者数 (年間利用者延べ人数) 16,890人 うち短期入所者数 330人 通所者数 (年間通所者延べ人数) 1,744人 <p>※施設は令和2年度中に閉所する予定ですが、事業量等は当初予算ベースで作成しています。</p>



R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)	R.5年度(事業計画)

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		112,668千円		108,043千円			
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他(介護報酬等)		82,544		94,862			
一般財源	0	30,124	0	13,181			
人工数							
職員							
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	201,018千円	0千円	189,025千円			
①+②総事業費	0千円	313,686千円	0千円	297,068千円	0千円	0千円	0千円